



里親が育てる。  
社会が支える。



立命館大学フォスタリング・ソーシャルワーク専門職講座 特別シンポジウム

# 里親と実親の協働を考える

近年、社会的養育の子どもの中で、里親家庭で暮らす子どもが増えてきています。それは、子どもが地域で暮らす機会を保障するという意味において非常に前向きな変化だと言えます。しかし、里親家庭で暮らす子どもは児童養護施設などで暮らす子どもと比べると、実親と交流をする機会が少ないことが分かっています。このことは、子どもが里親家庭で暮らしている間のみならず、自立した後にも影響を与えるといえます。そこで、本シンポジウムでは、里親家庭で暮らす子どもと実親との交流を実現するために欠かせない「里親と実親の協働」についてこれまで積極的に実践されてたお二人を迎えて、現状と今後の展望についてのディスカッションを行います。



2022年 7月6日 水 10:00~12:00

開催形式 オンライン(ZOOM)

<https://ritsumeai-ac-jp.zoom.us/j/92814853874?pwd=Yks3WE9GVnRzZFNzb25TSC9hSVBQQT09>

ミーティングID 928 1485 3874 パスコード 304367

※名前をフルネームで表記の上、ログインしてください。許可した方から入室していただきます。

参加  
無料

【対象】  
社会的養育に  
関わる専門職・  
養育者の方

## 登壇者

- 音山 裕宣氏 (川崎市多摩区役所保護課(多摩福祉事務所ケースワーカー/元児童相談所児童福祉司)  
「実親を含めたチーム協働養育を実践するために」
- 中村 みどり氏 (NPO法人キープセット福岡事務所/Children's Views & Voices 副代表)  
「子どもが地域で育ち続けられるために～里親の新たな役割～」

## モデレーター

- 中村 正 (立命館大学産業社会学部・人間科学研究科 教授)

## 司会進行

- 徳永 祥子 (立命館大学衣笠総合研究機構 准教授)

募集!立命館大学フォスタリング・ソーシャルワーク専門職講座4期生



「育ての親という生き方」をささえる里親支援のスペシャリストに



立命館大学フォスタリング・ソーシャルワーク専門職講座(助成:日本財団)では、2022年受講生(4期生)の募集を行っています。社会福祉、家族療法、心理臨床、社会病理などを統合した関連領域の知識と国内外の先進的な理念や実践を学び、人間理解力を身につけた思慮深く行動力のあるフォスタリングソーシャルワーカーを養成します。

今後の社会でより重要性を増す「子ども中心のフォスタリング・ソーシャルワーク」の先駆者・実践者になる方、特に各機関または地域のリーダーとして里親支援を向上させることのできる、やる気のある人材を広く募ります。

募集HP <https://fosteringsocialwork.com/>

応募期間 7月31日(日)まで

受講生  
募集中